

# 岩出市立小中学校「コミスク」通信

令和5年度第1号（通算11号） 令和5年5月19日 岩出市教育委員会

岩出市立小中学校の「きのくにコミュニティスクール」の取組が4年目を迎えました。過去3年間で、各学校が特色を生かして様々な活動を進めてきました。今年度からは、持続可能な活動になるように取り組んでいきたいと思えます。そのためには、学校や地域の課題を熟議して、何か必要な目標設定して、無理のない計画を立てていくことが必要です。

今年度も不定期の発行となりますが、この通信で各校の活動状況をお知らせしていきます。

## 1 「第1回学校運営協議会」に運営について

例年、各学校では第1回学校運営協議会の開催を5月下旬から7月初旬に計画していると思えます。第1回は学校の教育目標や活動計画を学校長が説明し、委員の皆さんに承認してもらうことが中心となりますが、できれば短時間であっても地域と学校の課題を出し合う「熟議」や「ホワイトボードミーティング」の時間を取るようにしてください。また、課題に合わせて2～3の部会を作ると、話し合いがスムーズに進むと思えます。市教委担当者もオブザーバー参加しますので、日程が決まり次第、教育総務課と生涯学習課に連絡をお願いします。



## 2 県発行のリーフレットを参考に活動充実を！

和歌山県教委では、これまで多くのリーフレットを発行してきました。各校で教職員に配布するだけでなく、なぜ、これからの学校教育にコミスクが大切になっていくのかを議論する材料に活用してください。令和4年10月発行のリーフレットには、「それぞれの学校地域『ならでは』のコミスクを目指して！」「先生の意見がかたちになるしくみ！地域との良いつながりが持続できるしくみ！」「『OK!』から『Let's!』へ」などのフレーズが書かれています。そして、コミスクの運営が管理職だけでなく教職員全体で関わることの大切さ、地域と連携・協働することで学校への見方が変わること（苦情が減り、味方が増える）、教職員の異動に関わらず安定した学校を支える仕組みづくりができることなどが書かれています。



## 3 ボランティア登録がぞくぞくと…

今年度は早くからボランティア登録が進み、現時点で登録者は220名超（のべ290名超）となっています。特に小学校では、登下校時の見守り、1年生の下校見守り、学校園の整備と野菜苗や花の植え付け、本の



読み聞かせなどのボランティア活動がスタートしています。この後も、学校の活動に合わせて多くのボランティアの皆さんが協力してくれると思えます。直接学校へ問い合わせる方もいらっしゃると思えますので、すぐに連絡をお願いします。活動が始まるまでに早急に保険の手続きをします。また、活動に必要な道具や準備物は早めにご連絡ください。



紙面充実のために、「本校ではこんな取組をしています。」「こんな工夫をしてみました。」「こんな計画をしています。」など、コミスクに関わる情報提供をお待ちしています。ぜひ、ご連絡ください。また、昨年度同様に、各学校の活動を順に紹介していきたいと思えます。